

25年ぶりトライアスロン

6月南ア、南伊奈ヶ湖で水泳

県内ではほぼ四半世紀ぶりとなる成人向けトライアスロン大会が、南アルプス市で6月30日に開催されることが決まった。「南アルプスフルツトトライアスロン」と題した大会で、市は観光PRなどの効果も期待している。

大会は、トライアスロン雑誌「LUMINA」を発行する「シーオス」社(東京都)と市などの共催。同社社長が観光で市内を訪れた際、景観の美しさに感懐し、市に共催を持ちかけたという。現在、実行委員会設立の準備が進んで

いる。1・5キロの水泳は、楕形山の麓にある南伊奈ヶ湖で行い、市西部の市之瀬台地を自転車で40キロ、ランニングで10キロ駆け抜け、ゴール地点の楕形総合運動公園を目指す。ゴール後は、特産のサクランボなどが振る舞

われる予定。

県トライアスロン連合によると、県内は競技人口が少なく、大会は約25年前に「河口湖西湖国際トライアスロン大会」が開かれて以来という。中込博文市長は「この大会が南アルプス市の景観を知ってもらうきっかけになれば」と期待を込めた。定員200人。参加申し込みは3月1日から、同社トライアスロン部門のホームページ「LUMINA.com」で受け付ける。

南伊奈ヶ湖泳ぎ、櫛形山麓でバイク…

南アでトライアスロン

南アルプス市は、都内企業と連携して今年6月、「南アルプスフルーツトライアスロン」を開く。南伊奈ヶ湖で泳ぎ、風光明媚な道を自転車で疾走する、市内の特徴を生かしたコース。県トライアスロン連合によると、県内で一般成人向けの大会が開かれるのは1993年の「河口湖西湖国際トライアスロン大会」以来となる。

〈野口健介〉

6月、合併10周年で大会

大会は、市合併10周年を記念した「ビッグテナイヤープロジェクト」の一環として開かれる。トライアスロン雑誌「LUMINA」を発行する会社「シーオス」(東京都)との共催。

力を感じ、中込博文市長に大会の共催を持ち掛けて、開催が実現した。コースは、南伊奈ヶ湖を泳いで3周するスイム(水泳1・5ギ)、からスタートする。富士山や八ヶ岳、南アルプス市の街並みなどを一望できる櫛形山の麓を駆け抜けるバイ

ク(自転車40ギ)、最後は櫛形総合公園周辺に設定されたコースを走るラン(10ギ)となる。ゴール後にはサクランボなどの果物が振る舞われる。中込市長は「大会を通じて南アルプス市の景観や果物を全国

にアピールしたい」と話している。大会は6月30日に開かれる。定員は200人で、申し込みの締め切りは6月9日(定員に達し次第、応募を締め切る)。「LUMINA」の公式サイトで、応募を受け付けている。

